

おさか脳神経外科病院

実施日	令和7年8月23日(土)	実施時間	9:00 ~ 12:10
参加人数 計 3名	小学生0名(男0名・女0名) 高校生2名(男0名・女2名)	中学生1名(男0名・女1名) その他0名(男0名・女0名)	
実施 プログラム	挨拶 オリエンテーション 院内見学(各科説明あり・車椅子体験) バイタルサイン体験 看護体験(手浴・足浴) 懇談会 (国試問題体験・振り返り・感想文記入・修了証交付・記念撮影)		
実施内容	<p>「ふれあい看護体験」を実施し、中学・高校生3名の学生が参加しました。初めてユニフォームに袖を通した姿は、気恥ずかしさの中に喜びと、意気込みを感じさせるものでした。院内見学では各職種より専門的な話も交えながら見学し、病院でのチーム医療を理解してもらいました。リハビリでは車椅子体験では、患者さんの景色や、段差・スロープなど注意する点を学んでもらいました。体験を通して緊張していた表情が明るくなり、笑顔も見られるようになってきました。バイタルサイン測定では、体温・血圧などに加え、脳神経外科特有の神経所見も体験しました。患者さんとの手浴・足浴体験では戸惑いも見られましたが、患者様の笑顔につられて、参加者の笑顔もたくさん見られました。患者様のお礼の言葉に素直に喜んでいる姿をみてスタッフも初心を振り返れたように感じました。学生に話す際には分かりやすい言葉を選択しなければと思いました。</p> <p>短い体験時間ではありましたが、この「ふれあい看護体験」が、参加者の将来を考えるうえで少しでも役に立てばよいと思います。最後に「ふれあい看護体験」に参加して下さった方と関わっていただいた皆様、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。</p>		

参加者の声

高校3年生

特に印象に残ったのは、実際に患者さんと触れ合い手浴を体験したことです。人の手を洗うのは緊張したけど、終わった後、「ありがとう」と言ってくれてとてもうれしかったです。看護師がより良い職業だなと思いました。また血液型が分かるやり方を知りました。自分の血液型もこのやり方で分かったのかなと思い感慨深かったです。

高校2年生

今回体験してみて看護師と言う仕事がよりわかることができ、改めてやりがいのある仕事だなと思いました。実際に患者さんと接してみても楽しかったし、感謝してもらって気分がとてもよかったです。看護師の方にも優しく教えてもらうことができよかったです。

中学3年生

普段はあんまり入れない場所にも入れて、色々な事を教えてもらったり、車椅子押したり、車椅子を乗る側の体験をしたりして、患者さんに寄り添えるようにしたいと思いました。初めて聞いた言葉が何個かあってびっくりしました。

